

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地			
専門学校穴吹ビューティカレッジ		平成14年3月14日	森川 和哉	〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 082-823-5500			
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人穴吹学園		平成3年4月1日	穴吹 忠嗣	〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-2266			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
衛生	衛生専門課程	美容学科	平成16(2004)年度	-	平成26(2014)年度		
学科の目的	美容師国家試験合格を目標とし、高い技術力、感性、人間性を高め社会に通ずる人材を育成し、ヘアスペシャリスト専攻、ブライダルスタイリスト専攻により、より専門的な知識と技術を持ったスペシャリストを育成する						
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	美容師国家資格、UTOWAメイクアップ技術検定、山野流着装、ネイリスト技能検定、ABEまつ毛エクステンション技能者認定試験などが取得可能 R5年度の退学率は6.4%						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 2,016 単位時間 単位	570 単位時間 単位	1,350 単位時間 単位	96 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留學生数(生徒実員の内数)(B)	留學生割合(B/A)				
80人	78人	0人	0%				
就職等の状況	■卒業者数(C)		37	人			
	■就職希望者数(D)		36	人			
	■就職者数(E)		36	人			
	■地元就職者数(F)		25	人			
	■就職率(E/D)		100	%			
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		69	%			
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		97	%			
	■進学者数		0	人			
	■その他						
	本人希望の就職斡旋辞退者が1名		(令和5年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報)				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載		有				
	評価団体: 株式会社のみら	受審年月: R5年11月	評価結果を掲載したホームページURL		https://web.anabuki-college.net/content/uploads/auk-rating-r3.pdf		
当該学科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/beauty/						
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)						
	総授業時数		2,016 単位時間				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		96 単位時間					
うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間					
うち必修授業時数		96 単位時間					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		96 単位時間					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		96 単位時間					
(B: 単位数による算定)							
総授業時数		単位					
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位					
うち企業等と連携した演習の授業時数		単位					
うち必修授業時数		単位					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位					
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者		(専修学校設置基準第41条第1項第1号)		4人		
	② 学士の学位を有する者等		(専修学校設置基準第41条第1項第2号)		1人		
	③ 高等学校教諭等経験者		(専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人		
	④ 修士の学位又は専門職学位		(専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人		
	⑤ その他		(専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0人		
	計				3人		
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		5人					

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

美容師として働くために「美容」「メイク」「ネイル」「着付け」等に関する基礎知識から実践的な技術を身につけた人材を養成するのが学科の特色です。また、お客様に対する接客等の現場対応力を身につけるためのカリキュラムを実施します。さらに、学内で学んだ知識・技術をもとに学生の就職希望に応じた施設で実習を行う。実習の体験を通して学生は学内における自らの学びを確認し評価するとともに、実習で得た課題を実習後の学びに繋げていく。また、現場で働く美容師の姿を通して職業人としての自らの将来像を具体化させるとともに、変化する社会に対応して自ら学び続ける姿勢を養う職業教育の機会とする

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善、実施イベントの改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。美容業界団体や美容関連企業、サロンに依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善やイベント内容の改善を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案、イベント案を作成しそれを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会 理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
河端 公美子	河端着付教室 代表	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
高畑 育代	有限会社カールズジャパン 専務取締役	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
小野 和則	株式会社セレクトビューティー 執行役員	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
中村 博子	株式会社 麴町リバーズ 副院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
西村 恭	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
高重 宏一	香川県健康福祉部生活衛生課 課長	令和6年5月1日～令和7年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年11月9日(木)10:00～11:30

第2回 令和6年3月15日(金)14:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

コロナがあけて、お客様と密になるため、接客マナーをあげることで、県の魅力発信にもなると指摘があったため、授業内で接客マナーに関する内容を実施予定。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
 学内で身に付けた知識、技術が美容サロン等と連携した取り組みを通じて、より一層のスキルアップに繋がるようにする。実務実習(インターンシップ)を実施する。学生は実務実習先で接客マナー等を身に付け、サロン担当者に評価をお願いする。実習終了時にはサロン担当者の意見や実習評価をふまえ、担当教員が評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
実務実習	美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンで現場を通じて実践する。	(株)のむら、(有)リッツ、(株)atelier Lead、他

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は教職員研修規程に従い、ビューティ業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が習得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技能の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は教職員研修規程に従い、ビューティ業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が習得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技能の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	四国地区理容師美容師教員研修会	連携企業等:	日本理容美容教育センター
期間:	令和5年10月14日(土)~15日(日)	対象:	学科教員
内容:	「非認知能力」について、「AYA世代によくみられる精神的問題とその対応」について		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	Google初級研修	連携企業等:	イーディーエル株式会社
期間:	令和5年8月30日	対象:	教職員
内容:	Googleクラスルームの活用方法		

研修名:	ICT活用中級研修	連携企業等:	穴吹学園(本部)
期間:	令和6年4月3日(水)	対象:	教職員
内容:	ICTを活用した授業運営について		

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	四国地区理容師美容師教員研修会	連携企業等:	日本理容美容教育センター
期間:	令和6年10月12日(土)~13日(日)	対象:	学科教員
内容:	未定		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	非認知能力養成勉強会	連携企業等:	穴吹学園(本部)
期間:	令和6年9月12日(木)	対象:	教職員
内容:	非認知能力の伸ばし方		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることでよい人材の育成に努める。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等
(2)学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等
(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができていないか、等
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは適切か、等
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開しているか、等
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができていないか、等
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	業界団体委員
河端 公美子	河端着付教室	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
高畑 育代	有限会社カールズジャパン	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
小野 和則	株式会社セレクトビューティー	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
中村 博子	株式会社 麴町リバーズ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
西村 恭	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
森川 崇		令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	元高校関係委員
矢野 理菜	Chrame in the life	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生代表委員
土居 真也	香川県立津田高等学校	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高校関係委員
西本 泰三	英明高等学校	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高校関係委員
岡内 麻美	専門学校穴吹ビューティカレッジ保護者会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	保護者代表委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/content/uploads/auk-rating-r3.pdf>

公表時期: 令和6年11月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/disclosure/#beauty>

公表時期: 令和6年11月1日

授業科目等の概要

(衛生専門課程 美容学科)															
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			衛生管理	◎国家試験筆記科目【必須科目】 感染症に対する正しい知識や、消毒方法や消毒薬の調整方法など衛生管理技術を学習する	1通	40	○			○		○		
	○			保健	◎国家試験筆記科目【必須科目】 皮膚や毛髪についての理解を深め、美容業務に必要な知識を身につけ、美容施術に活かす	1通	40	○			○		○		
	○			香粧品化学	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容師の業務を行う上で必要な香粧品の基礎知識について学習する	1通	30	○			○		○		
	○			文化論	◎国家試験筆記科目【必須科目】 ファッション、メイクを含めたヘアの歴史を知り知識の幅を広げる	1通	30	○			○		○		
	○			美容技術理論	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容技術を習得するために、その裏付けとしての基礎理論を学習する	1通	60	○			○		○		
	○			美容実習	◎国家試験実技科目【必須科目】 美容師国家試験課題を理解し、技術を習得する	1通	##		○		○		○		
	○			サロン実務	【選択必須科目】 美容技術の基本手技の技術を学習し、サロンワークに対応できる技術を習得する	1通	60		○		○		○		
	○			メイク	【選択必須科目】 スキンケア・メイクアップ技術を習得し、UTOWAメイクアップ技術検定の合格を目指す	1通	60		○		○		○		
	○			ネイル	【選択必須科目】 ネイルに関する専門的な知識を学び、ネイリスト検定3級の技術を習得する	1通	60		○		○			○	
		○		着付け	【選択必須科目】 着付けに関する専門的な知識や作法を学び、山野流着装初伝・中伝の資格取得を目指す	1通	60		○		○		○		
		○		ヘアアレンジ	【選択必須科目】 ヘアアレンジの基礎技術を学習し、オリジナルスタイルを作成し、実践的な技術を学習する	1通	60		○		○		○		
	○			社会人基礎講座	【選択必須科目】 社会人としてのマナーや対人技能、一般常識を養い、サービス接客検定3級の合格を目指す	1前	30		○		○		○		
	○			実務実習	【選択必須科目】 美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンで現場を通じて実践する	1後	48			○		○	○		○
	○			パーソナルカラー	【選択必須科目】 美容業界における色彩の役割を理解し、パーソナルカラー検定モジュール1の合格を目指す	1通	30		○		○			○	
		○		選択（トップスタイリスト）	【選択必須科目】 イメージ通りのスタイル構成、手順、テクニックを身につけ、外部コンテストで入賞を目指す	1後	50		○		○			○	

16	○	選択（アイデ ザイナー）	【選択必須科目】 まつ毛エクステに関する正しい知識を学習し、まつ毛エクステ検定試験合格を目指す	1 後	50			○		○		○		
17	○	関係法規・制 度	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容業における関係法規・制度の重要性と 関わりについて知識と理解を深める	2 通	30			○		○				○
18	○	衛生管理	◎国家試験筆記科目【必須科目】 感染症に対する正しい知識や、消毒方法や 消毒薬の調整方法など衛生管理技術を学習 する	2 通	50			○		○				○
19	○	保健	◎国家試験筆記科目【必須科目】 皮膚や毛髪についての理解を深め、美容業 務に必要な知識を身につけ、美容施術に活 かす	2 通	50			○		○				○
20	○	香粧品化学	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容師の業務を行う上で必要な香粧品の基 礎知識について学習する	2 通	30			○		○				○
21	○	文化論	◎国家試験筆記科目【必須科目】 ファッション、メイクを含めたヘアの歴史 を知り知識の幅を広げる	2 通	30			○		○				○
22	○	運営管理	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容業における接客、経営戦略、マーケ ティング、経営管理の重要性と関わりを理 解する	2 通	30			○		○				○
23	○	美容技術理論	◎国家試験筆記科目【必須科目】 美容技術を習得するために、その裏付けと しての基礎理論を学習する	2 通	90			○		○				○
24	○	美容実習	◎国家試験実技科目【必須科目】 美容師国家試験課題を理解し、技術を習得 する	2 通	##			○		○				○
25	○	サロン実務	【選択必須科目】 美容技術の基本手技の技術を学習し、サロ ンワークに対応できる技術を習得する	2 前	30			○		○				○
26	○	実務実習	【選択必須科目】 美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、 実際のサロンで現場を通じて実践する	2 前	48					○			○	○
27	○	選択（トップ スタイリスト）	【選択必須科目】 イメージ通りのスタイル構成、手順、テク ニックを身につけ、外部コンテストで入賞 を目指す	2 前	40			○		○				○
28	○	選択（アイデ ザイナー）	【選択必須科目】 まつ毛エクステに関する正しい知識を学習 し、まつ毛エクステ検定試験合格を目指す	2 前	40			○		○				○
29	○	専攻（ヘアメ イク）	【選択必須科目】 ヘアメイクの基礎、スタイル構成、手順、 テクニック、カメラワークなどを身につ け、外部コンテストで入賞を目指す	2 通	90			○		○				○
30	○	専攻（ブライ ダル）	【選択必須科目】 ブライダルに関する技術を学び、創造力や 応用力を養い、社会性や協調性を身につけ る	2 通	90			○		○				○
合計					30	科目		2016 単位（単位時間）						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 全科目の成績がC評価以上及び出席率が85%以上であること		1学年の学期区分	2期
履修方法： 上記条件を満たすこと		1学期の授業期間	20週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地			
専門学校穴吹ビューティカレッジ		平成14年3月14日	森川 和哉	〒 760-0020 (住所) 香川高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-5500			
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人穴吹学園		平成3年4月1日	穴吹 忠嗣	〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-2266			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
文化・教養	文化教養専門課程	ビューティコーディネーター学科	平成16(2004)年度	-	平成26(2014)年度		
学科の目的	メイク、ネイルの専門的な知識と技術を持ったスペシャリストを目指し、サロンワーク実習やボランティア活動を通じて社会性・人間性を高め、社会に貢献できる人材を養成する。						
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	メイク、ネイルに関わる資格(化粧品検定1級、メイクセラピー検定2級、ネイリスト検定1級、ジェルネイル検定上級をはじめとし、卒業までに20個以上)取得を目指し、美容部員、ネイリストに必要な知識やスキルを身につけることのできる学科。R5年度の退学率は11.6%。						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,708 単位時間 単位	498 単位時間 単位	1,150 単位時間 単位	60 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)				
40人	45人	0人	0%				
就職等の状況	■卒業者数(C)		20	人			
	■就職希望者数(D)		19	人			
	■就職者数(E)		19	人			
	■地元就職者数(F)		12	人			
	■就職率(E/D)		100	%			
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		63	%			
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		100	%			
	■進学者数		0	人			
	■その他						
	1名は自主活動で卒業後、就職 (令和5年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 株式会社アルピオン、株式会社イブサ、株式会社コーサー、P&Gプレステージ合同会社SK-II、株式会社ソシエ・ワールド、ネイルサロンfeminine、NailSalonAnnie&Gino、J&M株式会社Nail Salon MARCH、株式会社createur、beryl ~nail&eyelash~, APILA、爪屋べっぴん堂						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 有限会社カールズジャパン 受審年月: R5年11月 評価結果を掲載したホームページURL: https://web.anabuki-college.net/content/uploads/auk-rating-r3.pdf						
当該学科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/beauty/beauty-coordinator/						
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)						
	総授業時数		1,708 単位時間				
		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		60 単位時間			
		うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間			
		うち必修授業時数		60 単位時間			
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		60 単位時間			
		うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間			
		(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		60 単位時間			
(B: 単位数による算定)							
		総授業時数		単位			
		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位			
		うち企業等と連携した演習の授業時数		単位			
		うち必修授業時数		単位			
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位			
		うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位			
		(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位			
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者		(専修学校設置基準第41条第1項第1号)		3人		
	② 学士の学位を有する者等		(専修学校設置基準第41条第1項第2号)		2人		
	③ 高等学校教諭等経験者		(専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人		
	④ 修士の学位又は専門職学位		(専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人		
	⑤ その他		(専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0人		
	計				5人		
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				5人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ビューティアドバイザー、ネイリストとして働けるように「メイク」、「ネイル」に関する基礎知識から実践的な技術を身につけた人材を養成するのが学科の特色です。また、お客様に対する接遇等の現場対応力を身につけるためのカリキュラムを実施します。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善、実施イベントの改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。美容業界団体や美容関連企業、サロンに依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善やイベント内容の改善を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案、イベント案を作成しそれを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会 理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
河端 公美子	河端着付教室 代表	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
高畑 育代	有限会社カールズジャパン 専務取締役	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
小野 和則	株式会社セレクトビューティー 執行役員	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
中村 博子	株式会社 麴町リバーズ 副院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
西村 恭	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
高重 宏一	香川県健康福祉部生活衛生課 課長	令和6年5月1日～令和7年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年11月9日(木)10:00～11:30

第2回 令和6年3月15日(金)14:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・フットのお悩みで来店されるお客様が増えてきているため授業で取り組むことでネイリストとして幅広く対応できるようになるのでは→フットケアを授業でも取り入れておりネイリスト志望者はより深い知識を習得するためフットケア理論検定試験講習を受講(今後はより多くの時間をフットケアの実習に費やすことで技術力も向上させていきたい)
・基本技術の徹底、フォトコンテスト等で作品制作し検証をする、様々な方への対応が出来る機会を増やすことで実践力につながる→基本技術はもちろん作品制作にもより一層力を入れており、サロンワーク実習においては幅広い年齢層に対応した実践を行っている

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
 学内で身に付けた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通じて、より一層のスキルアップに繋がるようにする。実務実習(インターンシップ)を実施する。学生は実務実習先で接客マナー等を身に付け、サロン担当者に評価をお願いする。実習終了時にはサロン担当者の意見や実習評価をふまえ、担当教員が評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
実務実習	美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際の店頭やサロンで現場を通じて実践する。	(株)イプサ、(株)高松三越、(有)カールズジャパン、有限会社センコヤ本店、他

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は教職員研修規程に従い、ビューティ業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が習得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技能の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は教職員研修規程に従い、ビューティ業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が習得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技能の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: JNA認定講師勉強会(オンライン)	連携企業等: 日本ネイリスト協会
期間: 令和6年2月29日(木)	対象: 学科教員
内容: ネイリスト検定試験について	

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: ICT活用中級研修	連携企業等: 穴吹学園(本部)
期間: 令和6年4月3日(水)	対象: 教職員
内容: ICTを活用した授業運営について	

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: JNA認定講師勉強会(オンライン)	連携企業等: 日本ネイリスト協会
期間: 令和7年2月	対象: 学科教員
内容: ネイリスト検定試験について	

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 非認知能力養成勉強会	連携企業等: 穴吹学園(本部)
期間: 令和6年9月12日(木)	対象: 教職員
内容: 非認知能力の伸ばし方	

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることでよい人材の育成に努める。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等
(2)学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等
(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができていないか、等
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは適切か、等
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開しているか、等
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができていないか、等
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	業界団体委員
河端 公美子	河端着付教室	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
高畑 育代	有限会社カールズジャパン	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
小野 和則	株式会社セレクトビューティー	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
中村 博子	株式会社 麴町リバーズ	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
西村 恭	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
森川 崇		令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	元高校関係委員
矢野 理菜	Chrame in the life	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生代表委員
土居 真也	香川県立津田高等学校	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高校関係委員
西本 泰三	英明高等学校	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高校関係委員
岡内 麻美	専門学校穴吹ビューティカレッジ保護者会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	保護者代表委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://web.anabuki-college.net/content/uploads/auk-rating-r3.pdf>

公表時期: 令和6年11月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/disclosure/#beauty>

公表時期: 令和6年11月1日

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビューティコーディネーター学科)																
No.	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			メイク実習Ⅰ	・スキンケア、メイクアップ技術の基本を学ぶ	1通	120		○			○		○		
2	○			ネイル実習Ⅰ	・ネイリスト技能検定試験3級合格を目指す ・ネイルの専門的な知識と、ネイルケア、リペア、ネイルアート技術を学ぶ	1通	120		○			○		○		
3	○			メイク実習Ⅱ	・基本のメイクアップをもとに、応用メイクと作品制作に伴うヘアアレンジを学ぶ	1通	60		○			○			○	
4	○			ネイル実習Ⅱ	・ネイリスト技能検定2級合格を目指す ・ネイルに関する幅広い知識と技術を学ぶ	1通	60		○			○		○		
5	○			着付実習	・山野流着装 初伝、中伝合格を目指す ・着物文化を学び日本女性の感性、所作、礼儀作法、そして社会で即戦力となる技術を身に付ける	1通	60		○			○		○		
6	○			エステティック実習	・認定フェイシャルエステティシャン、ボディエステティシャン試験合格レベルを目指す ・エステティック技術の基本的な流れを目的効果手法について理解し、トリートメントを行う上での知識や技術を学ぶ	1通	60		○			○		○		
7	○			ジェルネイル実習	・ジェルネイル技能検定試験初級合格を目指す ・ジェルネイルに関する基礎理論と技術を学ぶ	1後	30		○			○		○		
8	○			アロマテラピー	・天然の香りの知識を身に付けアロマテラピー検定の内容を理解し、2級合格を目指す ・アロマテラピーを正しく安全に楽しむ知識を幅広く身に付ける	1通	46		○			○			○	
9	○			パーソナルカラー	・パーソナルカラー検定モジュール1合格を目指す ・美容業界で活用できる色彩、パーソナルカラーの基礎知識を学習する	1通	46		○			○			○	
10	○			皮膚科学	・認定フェイシャルエステティシャンボディエステティシャン試験合格レベルを目指す ・皮膚の働きと基本知識を理解する	1通	46		○			○		○		
11	○			化粧品学	・日本化粧品検定2、3級合格を目指す ・化粧品についての基礎知識を学習する	1通	50		○			○		○		
12	○			サロンワーク実習	・サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ	1後	30		○			○		○		

13	○	社会人基礎講座	・社会人になるための人格形成と就職活動に必要な知識を学び、企業が求める社会性とコミュニケーション能力を養う	1後	30		○		○	○				
14	○	接客マナー	・サービス接客検定準1級合格を目指す ・美容業界にふさわしい接客マナーを身につけ社会性とコミュニケーション能力を養う	1通	60		○		○	○				
15	○	実務実習	・美容業の基礎となる挨拶、接客マナーを職場を通して実践する	1後	60				○	○	○		○	
16	○	メイク実習Ⅰ	・スキンケア、メイクアップ技術の応用を学ぶ ・作品制作のレベルアップを目指し、技術を養う ・化粧品の正しい知識と接客技術を学ぶ	2通	120			○		○		○		
17	○	ネイル実習Ⅰ	・ネイルに関する幅広い知識と技術を学ぶ ・様々な技法を使ったアート作品制作を通して豊かな感性を磨く ・サロンワークで通用するネイル技術と接客を学ぶ	2通	120			○		○		○		
18	○	メイク実習Ⅱ	・ヘアメイクの応用を学ぶ ・外部コンテストでの入賞を目指し、撮影用ヘアメイクを学ぶ	2通	120			○		○			○	
19	○	ネイル実習Ⅱ	・ネイリスト技能検定1級合格を目指す ・サロンワークで対応できるスカルプチュア技術を学ぶ	2通	120			○		○			○	
20	○	メイクセラピー	・メイクセラピー検定2級、3級合格を目指す ・メイクセラピーの概念を理解する	2通	70			○		○		○		
21	○	ジェルネイル実習	・ジェルネイル技能検定試験上級、中級合格を目指す ・サロンワークで活用できるジェルネイル技術を学ぶ	2通	70			○		○		○		
22	○	パーソナルカラー	・パーソナルカラー検定モジュール2合格を目指す ・美容業界で活用できる色彩、パーソナルカラーの基礎知識を学習する	2通	44			○		○			○	
23	○	サロン経営学	・サロンの開店、経営方針について学び、サロン経営の目標意識を育てる	2前	20			○		○			○	
24	○	化粧品学	・日本化粧品検定1級合格を目指す ・化粧品についての基本知識を学習する	2通	56			○		○		○		
25	○	サロンワーク実習	・サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ	2通	60			○		○		○		
26	○	社会人基礎講座	・社会人になるための人格形成と就職活動に必要な知識を学び、企業が求める社会性とコミュニケーション能力を養う	2通	30			○		○		○		
合計				26 科目		1708 単位 (単位時間)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：全科目の成績がC評価以上及び出席率が85%以上であること		1学年の学期区分	2期
履修方法：上記条件を満たすこと		1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地			
専門学校穴吹ビューティカレッジ		平成14年3月14日	森川 和哉	〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-5500			
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人穴吹学園		平成3年4月1日	穴吹 忠嗣	〒 760-0020 (住所) 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-2266			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
文化・教養	文化教養専門課程	トータルエステティック学科	平成16(2004)年度	-	平成26(2014)年度		
学科の目的	エステティックの知識と技術を習得し、さらに、社会的価値を見出すことのできる人間力を身につける。 また、女性らしい立ち居振る舞いを身につけ、おもてなしの心を養う。						
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	一般社団法人日本エステティック協会の認定校で1000時間コースを導入。美容・健康・癒しを学び、エステに関わる資格(認定上級エステティシャン、認定エステティシャン)をはじめ、アロマやメイク・ネイルに関する幅広い資格(アロマセラピー検定1級、化粧品検定1級、メイクセラピー検定3級、ジェルネイル検定中級)取得を目指す。R5年度の退学率は0%。						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,710 単位時間 単位	602 単位時間 単位	1,096 単位時間 単位	12 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)				
30人	32人	0人	0%				
就職等の状況	■卒業者数(C)		10	人			
	■就職希望者数(D)		9	人			
	■就職者数(E)		9	人			
	■地元就職者数(F)		2	人			
	■就職率(E/D)		100	%			
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		22	%			
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		90	%			
	■進学者数		0	人			
	■その他						
	1名は自主活動で卒業後、開業準備 (令和5年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報)						
■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) TBCグループ株式会社、株式会社ソシエ・ワールド、株式会社不二ビューティ、株式会社スリム・ビューティハウス							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 株式会社麹町リバーズ 受審年月: R5年11月 評価結果を掲載したホームページURL: https://web.anabuki-college.net/content/uploads/auk-rating-r3.pdf						
当該学科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/beauty/beauty-coordinator/						
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)						
	総授業時数		1,710 単位時間				
		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		60 単位時間			
		うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間			
		うち必修授業時数		60 単位時間			
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		60 単位時間			
		うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間			
		(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		12 単位時間			
		(B: 単位数による算定)					
		総授業時数		単位			
		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位			
		うち企業等と連携した演習の授業時数		単位			
		うち必修授業時数		単位			
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位			
		うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位			
		(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位			
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		2人				
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		2人				
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人				
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人				
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0人				
	計		4人				
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		4人					

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

エステティシャン、セラピストとして働けるように「美容」、「健康」、「癒し」に関する基礎知識から実践的な技術を身につけた人材を養成するのが学科の特色です。また、お客様に対する接客等の現場対応力を身につけるためのカリキュラムを実施します。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善、実施イベントの改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。美容業界団体や美容関連企業、サロンに依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善やイベント内容の改善を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案、イベント案を作成しそれを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会 理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
河端 公美子	河端着付教室 代表	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
高畑 育代	有限会社カールズジャパン 専務取締役	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
小野 和則	株式会社セレクトビューティー 執行役員	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
中村 博子	株式会社 麴町リバーズ 副院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
西村 恭	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
高重 宏一	香川県健康福祉部生活衛生課 課長	令和6年5月1日～令和7年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年11月9日(木)10:00～11:30

第2回 令和6年3月15日(金)14:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

技術力はもちろん、電話・クレーム対応を含めた接客力やコミュニケーション力等、即戦力につながる応用力を磨いてほしいとのご意見があり、今後のサロンワーク実習に向けて取り組んでいきたい。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学内で身につけた知識、技術が美容サロン等と連携した取り組みを通じて、より一層のスキルアップに繋がるようにする。実務実習(インターンシップ)を実施する。学生は実務実習先で接客マナー等を身に付け、サロン担当者に評価をお願いする。実習終了時にはサロン担当者の意見や実習評価をふまえ、担当教員が評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
実務実習	美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンや企業説明会に参加し実践する。	(株)クイール、都楽鍼灸院、TBCグループ(株)、(株)ソシエ・ワールド、(株)不二ビューティ、(株)スリムビューティハウス
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教員は教職員研修規程に従い、ビューティ業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が習得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技能の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教員は教職員研修規程に従い、ビューティ業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が習得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技能の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。		
(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名: AJESTHE Webセミナー		連携企業等: 日本エステティック協会
期間: 令和6年7月23日		対象: 学科教員
内容: 施術ポイントと解剖生理学と連携させた指導方法		
研修名: 技能五輪国際大会研修		連携企業等: 職業能力開発総合大学校、日本エステティック協会
期間: 令和6年1月29日～3月7日(20日間)		対象: 学科教員
内容: ビューティーセラピー職種世界大会入賞に向けた技術トレーニング		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名: 非認知能力報告会		連携企業等: 穴吹学園(本部)
期間: 令和6年8月6日		対象: 教職員
内容: 非認知能力について、各校の報告会		
研修名: ICT活用中級研修		連携企業等: 穴吹学園(本部)
期間: 令和6年4月3日(水)		対象: 教職員
内容: ICTを活用した授業運営について		
(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名: AJESTHE認定講師養成講座		連携企業等: 日本エステティック協会
期間: 令和7年2月3日		対象: 学科教員
内容: 学習指導計画書の作成方法、指導者としての心得と役割		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名: 非認知能力養成勉強会		連携企業等: 穴吹学園(本部)
期間: 令和6年9月12日(木)		対象: 教職員
内容: 非認知能力の伸ばし方		
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係		
(1) 学校関係者評価の基本方針 教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることでよい人材の育成に努める。		

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等
(2)学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等
(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができていないか、等
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実は図られているか、等
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは適切か、等
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開しているか、等
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができていないか、等
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
野村 慎二	日本ヘアカラー協会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	業界団体委員
河端 公美子	河端着付教室	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
高畑 育代	有限会社カールズジャパン	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
小野 和則	株式会社セレクトビューティー	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
中村 博子	株式会社 麴町リバース	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
西村 恭	ホテルニューオータニ大阪 管理部管理課 総務 支配人	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等委員
森川 崇		令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	元高校関係委員
矢野 理菜	Chrame in the life	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生代表委員
土居 真也	香川県立津田高等学校	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高校関係委員
西本 泰三	英明高等学校	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高校関係委員
岡内 麻美	専門学校穴吹ビューティカレッジ保護者会	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	保護者代表委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

URL: <https://web.anabuki-college.net/content/uploads/auk-rating-r3.pdf>

公表時期: 令和6年11月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2) 各学科等の教育	定員数、入学、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3) 教職員	教職員の概要、等
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6) 学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8) 学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9) 学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://web.anabuki-college.net/disclosure/#beauty>

公表時期: 令和6年11月1日

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 トータルエステティック学科)																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			フェイシャル実習	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・フェイシャルエステの正しい知識と理論に裏付けされた基本的な技術の習得	1通	114	4		○		○	○			
2	○			ボディ実習	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・ボディエステの正しい知識と理論に裏付けされた基本的な技術の習得	1通	88	3		○		○			○	
3	○			脱毛	・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格レベルを目指す ・ワックス脱毛の毛髪理論と技術を学び、具体的なアドバイスができる幅広い知識を習得する	1後	20	0		○		○			○	
4	○			ネイル実習	・ネイリスト技能検定試験3級合格を目指す ・ネイルの専門的知識と、ネイルケア、リペア、ネイルアート技術を学ぶ	1通	80	2		○		○			○	
5	○			ジェルネイル実習	・ジェルネイル技能検定試験初級合格を目指す ・ジェルネイルに関する基礎理論と技術を学ぶ	1後	30	1		○		○			○	
6	○			メイク実習	・UTOWA検定合格を目指す ・スキンケア、メイクの基本知識と技術の習得	1通	60	2		○		○			○	
7	○			運動トレーニング実習	・ヨガの「呼吸法」と「正姿勢」を学習 ・エクササイズ的要素を含め、日常生活において心身のバランスを整える健康法を習得	1通	40	1		○		○			○	
8	○			アロマセラピー	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・アロマセラピー検定2級合格を目指す ・天然の香りの知識を身につけアロマセラピー検定の内容を理解する	1通	40	3	○			○			○	
9	○			カウンセリング	・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・心理的カウンセリングとコンサルティングができる知識を習得し、カウンセラーとしての心構えを身につける	1通	40	3	○			○			○	
10	○			ビジネスマナー	・接客に必要な知識を高め、笑顔・挨拶・お辞儀・振る舞いなどを身につける ・就職活動について理解を深め内定につながる力を身につける	1後	14	0		○		○			○	

11	○		美容技術理論	<ul style="list-style-type: none"> ・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・技術の流れを理解し全身トリートメントの知識とポイントを学ぶ ・ワックス脱毛の基本的な毛髪理論を学ぶ 	1前	28	1	○			○	○		
12	○		美容機器コスメ学	<ul style="list-style-type: none"> ・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・日本化粧品検定3級合格を目指す ・化粧品や美容機器についての基礎知識を学習する 	1通	40	2	○			○		○	
13	○		サロン経営学	<ul style="list-style-type: none"> ・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・サロンの開店、経営方針について学び、サロン経営の目標意識を育てる 	1後	14	0	○			○	○		
14	○		エステティック学	<ul style="list-style-type: none"> ・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・エステティックに関する基礎的な知識(概論・関連法規・救急法)を学ぶ 	1前	30	2	○			○		○	
15	○		皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・皮膚の動きと基礎知識を理解する 	1前	38	2	○			○		○	
16	○		大脳解剖生理学	<ul style="list-style-type: none"> ・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・生命活動の基本原理について学ぶ・生命活動とホメオスタシスについて理解する 	1通	62	4	○			○			○
17	○		栄養学	<ul style="list-style-type: none"> ・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・栄養と健康、美容に関する基本知識を身につける 	1通	40	2	○			○			○
18	○		運動生理学	<ul style="list-style-type: none"> ・エステティシャンセンター試験を合格し認定エステティシャン資格取得を目指す ・運動に関する生理学を理解し適切な運動知識を身につける 	1後	20	1	○			○		○	
19	○		サロンワーク実習	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ 	1後	20	0		○		○		○	
20	○		社会人基礎講座	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス接客検定3級合格を目指す ・社会人になるための人格形成と就職活動に必要な知識を学び、企業が求める社会性とコミュニケーション能力を養う 	1前	30	2	○			○		○	
21	○		実務実習	<ul style="list-style-type: none"> ・美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、実際のサロンで現場を通じて実践する 	1後	12	0			○		○	○	○

22	○		フェイシャル 実習	<ul style="list-style-type: none"> ・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・正しい知識と理論に裏付けられた応用技術の習得 ・コンサルテーションの組立てと説明ができる力を養う ・メイクセラピー検定3級合格を目指す 	2通	130	4		○	○	○						
23	○		フェイシャル セラピー	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルトリートメントの幅を広げ多様な施術ができる力を養う ・目的に対し結果につながる技術の方法論を学習する 	2通	90	3		○	○	○						
24	○		ボディ実習	<ul style="list-style-type: none"> ・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・正しい知識と理論に裏付けられた応用技術の習得 ・オリジナルマッサージを組立て、お客様の要望に合わせて施術ができる力を養う 	2通	102	3		○	○	○						
25	○		ダイエット・ リラクゼー ションボディ	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディトリートメントの幅を広げ多様な施術ができる力を養う ・目的に対し結果につながる技術の方法論を学習する 	2通	90	3		○	○	○						
26	○		脱毛	<ul style="list-style-type: none"> ・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・脱毛に関する毛髪理論と技術を学び具体的なアドバイスができる幅広い知識を習得 ・フェイシャルを含む全身脱毛技術テクニックを身につける 	2後	20	1		○	○	○						
27	○		ジェルネイル 実習	<ul style="list-style-type: none"> ・JNAジェルネイル技能検定中級合格を目指す 	2前	40	1		○	○	○						
28	○		メイク実習	<ul style="list-style-type: none"> ・応用メイクを学びフォトコンテスト入賞を目指す 	2通	40	1		○	○	○						
29	○		運動トレー ニング実習	<ul style="list-style-type: none"> ・体力、体幹を身につける ・エクササイズ的要素を含め、日常生活において心身のバランスを整える健康法を習得 	2前	20	1		○	○	○						
30	○		アロマテラ ピー	<ul style="list-style-type: none"> ・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・アロマセラピー検定1級、アドバイザー合格を目指す 	2前	20	1	○		○	○						
31	○		カウンセリング	<ul style="list-style-type: none"> ・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・顧客心理を理解しコンサルテーションシート作成ができる知識を習得 	2通	40	2	○		○	○						
32	○		ビジネスマ ナー	<ul style="list-style-type: none"> ・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・接客に対する知識を深め実践的な応用力を身につけコミュニケーション能力を高める 	2後	20	1	○		○	○						
33	○		美容技術理論	<ul style="list-style-type: none"> ・Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・お客様の状態や目的に合わせてトリートメントができる知識を深めコンサルテーションシートが作成できる知識を習得 	2後	48	4	○		○	○						

34	○		美容機器コスメ学	・ Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・ 日本化粧品検定 1級合格を目指す ・ 化粧品と美容機器に関する知識を深めコンサルティングシートが作成できる知識を習得	2前	20	2	○		○		○
35	○		サロン経営学	・ Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・ スタッフの教育や販売促進、法律、経理に関する知識を理解し経営者の考え方を学ぶ	2後	16	2	○		○		○
36	○		皮膚科学	・ Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・ 皮膚の働きとしくみを理解しコンサルティングシートが作成できる知識を習得	2前	36	2	○		○		○
37	○		大脳解剖生理学	・ Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・ 人体の構造と働きを理解しコンサルティングシートが作成できる知識を習得	2後	38	2	○		○		○
38	○		栄養学	・ Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・ 栄養と健康、美容に関する知識を身につける ・ 調理法を学ぶ	2後	20	2	○		○		○
39	○		衛生管理	・ Ajesthe認定上級エステティシャン試験合格を目指す ・ 衛生管理に関する基礎知識を身につける	2前	20	1	○		○		○
40	○		サロンワーク実習	・ サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ	2通	40	2		○	○		○
合計						42	科目	1710 単位 (単位時間)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 全科目の成績がC評価以上及び出席率が85%以上であること		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 上記条件を満たすこと		1 学期の授業期間	20 週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。